令和７年度　事業計画

１ 基本方針

令和６年版高齢社会白書によると、我が国の 65 歳以上の高齢化率は令和５年 10 月１日現在で 29.1％に達し令和４年の同時期と比べて 0.1 ポイント増加しています。今後も人口減少・少子高齢化は進み、労働力人口も減少していくことから、シルバー人材センター事業（以下、「シルバー事業」という。）の役割はますます重要となります。

また、令和２年から続いていた新型コロナウィルス感染症も一昨年中旬には落ち着き日常が戻るとともに、福井北・九頭竜インター間で中部縦貫自動車道が開通した効果もあり、シルバー事業にも回復の兆しが感じられてきました。

一方で、依然続く円安傾向や物価高による諸経費の高騰、加えて一作年 10 月から消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）が始まり新たな税負担が増えたこと、さらにはフリーランス法が施行され、本年４月から県下のシルバー人材センターが一斉に包括的契約方式へ移行することなど、適切に対応していくことが必要です。

その中で、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、基本となる請負や委任、派遣事業はもとより、農業の６次産業化を軸とした当センター特有の独自事業の推進やボランティア活動など、地域に根差したシルバー事業を展開していきます。

その推進に当たっては、新規会員の加入促進や就業機会の拡大、安全就業等を図るとともに効率的な事業運営に努め、「公益社団法人」としての役割を果たしていくため、関係機関・団体、事業者、市民の皆様のご理解・ご支援をいただきながら、会員・役職員が一丸となって以下の事業に取り組んでいきます。

２　事業目標

令和７年度の目標を、次のように設定します。

令和７年度末の正会員数	５７５人
請負・派遣の合計契約額	３２０，０００千円
就業延日人数	１００，０００人日
就業率	９０％
傷害事故件数	０件
賠償事故件数	０件

３　重点取組

(1) 新会員の入会促進

従来からの会員による入会勧誘や入会説明会を開催するとともに、継続したＰＲ活動や会費減免制度も活用しながら会員拡大を進めます。

ア　入会説明会等による入会促進

(ｱ) 入会説明会の開催（毎月第３木曜日）

(ｲ) 出張入会説明会の開催（まとまって希望者がある場合）
(ｳ) お試し就業体験の実施（独自事業等）
イ　シルバー事業や入会案内等の情報発信
(ｱ) 会員機関紙「シルバーアンテナおおの」
(ｲ) 事務局だより「瓦版」
(ｳ) ねんりんの里での掲示板
(ｴ) センターのホームページ
(ｵ) 市広報誌情報掲載（毎月号）
ウ　会員紹介カードによる「会員一人一会員紹介運動」
エ　入会促進キャンペーンの実施（１月から３月）
オ　会費減免制度の活用（夫婦や同一世帯家族が入会で本人以外会費を半額）

(2) 就業機会の確保・拡大の推進
「瓦版」等で就業情報や会員紹介活動の掲載、新たな就業先の開拓や既存契約先における継続就業の維持を図るとともに、就業体験受入れや会員の講習会参加、並びに作業従事に必要となる講習等の費用を一部助成し人材確保に努めます。
ア　ＰＲ活動を強化し就業機会の確保・拡大を進めます。
(ｱ)「瓦版」の就業会員募集コーナーに就業情報掲載
(ｲ) 定期的な商工会議所会報へのチラシ折込み（業務紹介やシルバー派遣開拓）
(ｳ) ハローワークのシニア求人情報に情報掲載
イ　きめ細かな就業相談の実施
ウ　「会員一人一仕事紹介運動」の実施
エ　会員自身による当センター利用推進運動の実施
オ　県シ連の「高齢者活躍人材確保育成事業」活用による就業体験者受入れと技能講習の実施
カ　独自事業などでの専門的な講習会参加等による会員の育成
キ　草刈り作業で必要な技能・技術講習等費用の一部助成（1/2 助成上限 5 千円）

(3) 安全・適正就業、健康増進活動の推進
会員が、能力と体力に見合った仕事を通じて、安全で安心して仕事ができるよう安全・適正就業と健康増進活動に取り組みます。
ア　会員一人ひとりの安全意識徹底の就業による事故０（ゼロ）の推進
イ　安全・適正就業対策基本計画（平成２３年４月１日策定）の実施
(ｱ) 安全研修・講習会の開催
(ｲ) 安全・適正就業パトロールの実施
(ｳ) 会員の安全意識啓発
(ｴ) ローテーション就業の推進
ウ　会員の健康増進活動の推進
(ｱ) 定期的な健康診断受診の奨励

(ｲ) 健康大会の開催による日常の健康管理・体力づくり等の指導・助言

エ　発注事業所の意識啓発

(ｱ) 適正就業ガイドラインに沿った適正な就業環境の確保

(4)財源の確保

健全なシルバー事業運営へ向け、持続的で安定した財源の確保に努めます。

ア　正会員・賛助会員の入会促進

イ　国及び市に対して継続的支援の要請

ウ　受注拡大や独自事業の推進

エ　事務運営経費の適正かつ効率的な執行

オ　適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

カ　フリーランス新法に対応した包括的契約方式導入

(5) 独自事業の推進

就業機会の拡大のため、農業の６次産業化をはじめ、当センターの特色ある独自事業を継続して取り組むとともに、各種イベントへ積極的に参加しシルバー事業の情報発信、ＰＲに努めます。

ア　会員の創意工夫による事業運営

イ　持続可能な経営を見据えた事業運営

ウ　地域と密着した独自事業の連携

(ｱ) 城下町東広場や七間朝市で行う各種イベントでの連携（ねんりんの里本店及びねんりん茶屋のーそん）

(ｲ) 道の駅「越前おおの荒島の郷」で県内外の来訪者へ越前おおのの魅力発信（ココ・のーそん）

(ｳ) 地域住民や子供たちとの交流

・市内小学生対象の「ふるさとクラブ」開催

・「栗の里」での地元園児との栗拾いイベント

・阪谷小学校の児童全員が参加する「ねんりん秋市」

・小山まつりでの「刃物研ぎ」出店

(6) 普及啓発活動

シルバー事業の意義を家庭や事業所、公共団体等に対して周知啓発を行うとともに、効果的・効率的な普及活動を推進します。

ア　１０月のシルバー事業普及啓発月間や地域独自でのボランティア活動

イ　市の各種イベントへの積極的参加

ウ　機関紙「シルバーアンテナおおの」の市内全戸配布や会員用「瓦版」発行による普及啓発（独自事業などシルバー事業の取組みや会員の募集など）

エ　「目で見るシルバー」の作成

シルバー事業や各行事での会員活動の紹介、会議や行事会場などでの展示

オ　ホームページによるお知らせや就業情報、活動情報などの迅速な情報提供
カ　SNS を活用した積極的な情報発信（インスタグラムやフェイスブックなど）
キ　ボランティア活動や就業時でのＰＲ
　ビブス、エプロン、安全就業ワッペン等着用によるシルバー活動の PR
ク　本年 10 月開催予定の県シ連主催『ふくい元気・シルバーフェスタ 2025 イン大野』への当センター役員、会員の積極的な参加と協力及びＰＲ

(7) 組織運営

「公益社団法人」として健全で適正な組織運営を図るとともに会員主体の活動等を促進します。

ア　理事会
　事業の現状等の把握・分析と課題解決に努め、シルバー事業を推進
イ　専門部会
　「総務部会」、「事業部会」、「広報部会」、「安全・適正就業部会」、「福利厚生部会」で各担当業務の企画・運営とシルバー事業の推進
ウ　地域班
　地域世話人が中心となり地区懇談会の実施と地域班内の会員交流、会員相互連帯の推進、ボランティア活動による当センターへの地域の信頼度アップ
エ　職群班
　会員の共働・共助を基本とした連帯意識の高揚と自主・自立の実現、及び安全の確保と作業効率の向上
オ　事務局
　管理職員のマネジメント力強化、職員の OJT・研修等を通した育成
カ　デジタル化の推進
(ｱ) 会員のスマホ使用率向上へ向けた呼びかけと専用アプリ登録の促進
(ｲ) 事務局から会員へ適時適切に連絡するため、シルバー事業支援システム（エイジレス 80）の一斉送信ツールやラインアプリの活用
(ｳ) 会員専用サイト「Smile　to Smile 」の運用と情報提供の充実

(8) 関係機関・企業との連携

関係機関・団体や賛助会員への情報提供を行い、シルバー事業への理解を得て連携推進に努めます。

ア　県シ連や大野市、関係機関・団体との連携による事業の円滑な運営
イ　賛助会員への情報提供と連携によるシルバー事業の推進
ウ　他シルバー人材センターとの視察研修などによる情報交換や事業協力等による連携推進